

もりや公益活動助成金選考会 審査結果一覧（令和6年度）

1	申請事業名	お話会と技術向上のための研修会		
	申請団体	おはなし どんどこどん！		
	事業費総額	104,840 円	助成金額	100,000 円
	助成金申請額	100,000 円		
	事業内容	事業目的	乳幼児期から子育てのツールとしてスマホやテレビが使用され、そうしたツールの長時間使用による子どもたちの心身の発達への影響が危惧されている。読み聞かせを中心に心の栄養となる絵本との出会いを届ける活動をしていく中で孤立しがちなお母さんやお父さんにとって居心地の良い、お話会を模索してきた。	
事業概要		(1) 会員の基本的な技術向上とお話会のための演目の実践的な研修会を開催 (2) 毎月のお話会の反省と準備の反映、還元 (3) 語りやエプロンシアター、少人数で取り組めるミニシアターの研究 (4) 図書館の改修工事予定に伴い、新規のお話会の活動場所の開拓		
講評及び実施のための条件	多世代交流ができています。居場所があることが良い。 継続できるように支援や企業共催などの広がり、連携を強化する。 小規模なのでフットワークが軽いのは良い。継続性を考えると今後は新メンバーを入れて基盤づくりを強化するのはどうか。			

2	申請事業名	障がいのある子とその家族、市民が地域で多様性を認め合い生き生き過ごすための活動		
	申請団体	肢体不自由児・医療的ケア児の家族会 そら〜ち		
	事業費総額	152,500 円	助成金額	150,000 円
	助成金申請額	150,000 円		
	事業内容	事業目的	<目的> ・お互いのつながりや QOL の向上、持続的かつインクルーシブな社会を目指す ・就園や就学などライフステージ毎の課題の啓発をする ・地域の社会資源となる情報発信をし、孤立を防止する <理由> ・外出する機会が不足しており、家族や地域との接点も少ない ・誰もが参加できるイベントを開催し参加をサポート ・生活の基盤をより整え易くする	
事業概要		・ガイドブックの増刷 ・防災体験イベント ・就学相談、育児相談支援（ピアカウンセリング） ・市との協議 ・夏のおたのしみ会 ・ワークショップ ・インクルージョン（共生社会）への啓発活動		
講評及び実施のための条件	今後は法人化を考える、また民間の助成金を利用するなどして財源の確保に努めてほしい。 ガイドブックなどは市に支援（予算化）してもらい、公共の社会資源をつくっていくのはどうか。 家族がケアラー、ヤングケアラーになり得るので他団体との連携も重要。			

3	申請事業名	地域の子ども食堂を開設するための活動			
	申請団体	もりんくる			
	事業費総額	324,000 円	助成金額	150,000 円	
	助成金申請額	150,000 円			
	事業内容	事業目的	「食」を通して多世代交流の場を作り、誰もがつながりを持てる地域を目指している。		
		事業概要	<p>地域の子供たち（高校生まで）に、食事を無料提供する子ども食堂を行う。</p> <p>月1回、立沢の「デイサービス あっとホーム」にて日曜日の昼食時間帯を中心に実施する。</p> <p>月1回、もりサポ塾利用の中学生とその兄弟姉妹に、お弁当を作る。</p> <p>障がい児家族会そら〜ちとコラボ活動を年2回程度、またGHOと地域イベントに参加し、他団体利用者との交流を深める。</p> <p>コミュニティ作りを目的としているため食堂開催を中心に活動するが、コロナ禍においては、食事の無料配布会も検討する。</p> <p>また、月1回、もりサポ塾を使用している中学生その兄弟姉妹に、お弁当を作る。</p>		
講評及び実施のための条件	<p>多世代交流ができています。居場所があることが良い。</p> <p>継続できるように支援や企業共催などの広がり、連携を強化する。</p> <p>小規模なのでフットワークが軽いのは良い。継続性を考えると今後は新メンバーを入れて基盤づくりを強化するのはどうか。</p>				

4	申請事業名	ボッチャ競技の普及・振興のための活動			
	申請団体	守谷市ボッチャ協会			
	事業費総額	186,000 円	助成金額	150,000 円	
	助成金申請額	150,000 円			
	事業内容	事業目的	パラリンピックの正式種目であるインクルーシブスポーツ「ボッチャ」というツールを使って、障がいのある方との交流する機会を増やし、理解を深めてもらい、共生社会の実現を目指します。		
		事業概要	<p>将来の大会実施に向けての入口となるボッチャ競技の普及振興のため体験会を各学校や町内会等で開催できるよう計画・実施。</p> <p>世代を超えた親睦を作る機会や、障がいのある方との交流の機会を増やす。</p> <p>今秋の大会開催を目指して、体験会を実施し、大会に向けた告知や準備を行う。</p>		
講評及び実施のための条件	<p>今後の普及活動に期待。</p> <p>ボッチャ協会の組織力や守谷市の実績をきっかけにして県や国に働きかけてほしい。</p>				

5	申請事業名	守谷市を拠点として動物愛護活動を行うボランティアによる、犬猫の保護及び譲渡、TNR活動		
	申請団体	わんにゃんM's		
	事業費総額	824,750 円	助成金額	150,000 円
	助成金申請額	150,000 円		
	事業内容	事業目的	飼い主のいない犬猫の保護及び譲渡活動を行うとともに、動物愛護の精神を市民や子どもたちに伝え、もって人と動物との調和のとれた共生社会の実現に寄与することを目的とする。	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年10回の定例譲渡会（守谷市役所敷地内）とバザーの開催、及び市内マルシェ等へのイレギュラー譲渡会開催</li> <li>・飼い主のいない猫に不妊手術を実施し、地域猫として一代限りの命を守る（TNR）</li> <li>・地域猫活動への理解を得るための啓発</li> <li>・ふるさ都市もりや朝市、商工会祭りでの啓発活動</li> <li>・「命のパネル展」展示開催</li> </ul>		
講評及び実施のための条件	貴団体の活動の主旨は評価されるべきものです。但し、当助成金は期限があります。この活動の継続性を考える時、国や県や企業などが提案している補助金・助成金等の情報収集と応募が必要です。また、広報活動に取り組み、企業や個人からの寄付金を集めることやクラウドファンディングなどで長期的に自主財源が確保できるような態勢を検討してください。当助成金は新規チャレンジ・ステップアップ企画に対して助成をします。次回応募される場合は、この点にご配慮ください。			

6	申請事業名	2024もりやクリスマスファンタジー		
	申請団体	守谷市ネットワークー連絡協議会		
	事業費総額	250,000 円	助成金額	150,000 円
	助成金申請額	150,000 円		
	事業内容	事業目的	TX開業に伴う守谷駅西口広場の活性化・賑わい創りを目的。2007年より開催してきた「もりやクリスマスファンタジー」の責任母体が運営困難となったため従前より運営支援団体である当団体が運営母体となり、継続開催すべく取り組むこととなった。TX近隣駅周辺では民間事業者主体でクリスマス装飾やイベントが実施されている。市内でも市民協働での開催を企画する。	
事業概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>・TX守谷駅西口昇降階段の両サイドの電飾イルミネーション</li> <li>・西口広場のクリスマスツリー</li> <li>・リース等の装飾</li> <li>・クリスマスファンタジーイベント12月12日(日)予定</li> </ul> コンサート、キッズダンス、子ども食堂活動のPR、市内事業者飲食ブース・ランタン作りなどを検討中		
講評及び実施のための条件	寄付金の集め方を工夫し、安定的な財源確保を図り、活動をさらに発展していただきたい。クリスマス時期の駅前を明るく楽しくするために、飾付けもより華やかさを期待します。親子でイルミネーションを作るなどのワークショップを開催したり、障がいがあるなしに関わらず多様な子どもたちが参加できる場の提供を期待しています。			

7	申請事業名	和太鼓フェスタ			
	申請団体	和太鼓友			
	事業費総額	1,120,502 円	助成金額	300,000 円	
	助成金申請額	300,000 円			
	事業内容	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和太鼓フェスタで町おこし、町づくり</li> <li>・守谷市民を中心に500人以上の集客を目指し、守谷の名物になるように成田太鼓フェスタに劣らないフェスタにして駅前広場の活性化を目標とする。</li> <li>・子どもたちに太鼓を教え、青少年育成に貢献する</li> <li>・市内外の祭りやイベントに参加</li> </ul>		
		事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏会：会社式典、学校、自治会、高齢者施設、商工祭り、守谷駅前広場などの会場</li> <li>・日本太鼓財団茨城県支部代表、事務局として県内8団体のとりまとめ</li> <li>・子どもたちに太鼓を教える</li> </ul>		
	講評及び実施のための条件	<p>貴団体の活動は趣味性の高いものとみなされがちです。公益性の高い活動と評価されるためには、高齢者施設への訪問だけでなく障がい者団体とのコラボレーションなどの取り組みも検討しては如何でしょうか。また、駅前のイベントでは障がいのあるなしにかかわらず多様な子供たちを巻き込んで、太鼓体験ができる場を設けるなど多くの方が楽しめる企画を期待します。</p>			